

## 《肥料の施肥例》

カルシウムに富みpHが高めの土にする為、有機石灰をたっぷり入れよう！

### ◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 100g

他に…トヨクween(石灰) → 150g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

エスアイ加里 → 50g …等

### ◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g

※生育適温下では定植後の約20日間で葉の成長する時期であり、その後結球が始まる。結球直前に追肥をすることで球のしまりが良くなり、肥大が充実するが、高温にさらされることで結球が阻害されたり花芽を持つ場合がある為、播種や定植の時期を見極めることが最も大切と言える。



### この肥料の特徴

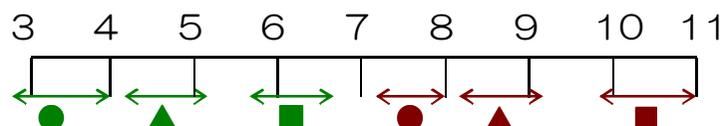
粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心して安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

# レタス

## ▶特徴と栽培のポイント

日本で普及が始まったのは戦後ですが、今や外食産業で欠かす事の出来ない野菜となったサラダの王様レタス♪しかし高冷地が栽培に適し水不足や病気にも敏感で栽培が難しいため、家庭菜園では敬遠されがちです。不安な方は比較的栽培が容易なリーフレタス(非結球品種)からチャレンジしてみましょう。

## ▶栽培カレンダー ●播種 ▲定植 ■収穫



※品種により播種時期が違いますので、種袋の後ろを良く見てから植える品種を選んで下さい。

トンネルやべたがけが必要な早春の播種は難しいので初夏～秋どりがおすすめ。種子は好光性なのでかけ土は薄くし25℃以下で管理する。苗は本葉3～4枚で根張りが良く、葉の開いていないものを選んで定植すること(株間25～30cm)。

生育中は水不足と肥料切れに特に注意！又カルシウム不足や過湿は生理障害や根腐病の元となるので収穫までしっかり手入れを行うこと。球レタスは生育・球肥大適温が15℃前後と低い為高温期は生育が遅く収穫まで80～90日かかる。

## 《人気の品種》



### ●サウザー

(結球レタス)

平均気温が高目になりつつある現代にうってつけの、高温期に強い早生品種。春から夏にかけて播種期が長いのが特徴的。つやのある濃緑色で扁円球となり、まとまりも良く、肉質は厚めで食味も優れる。

### ●コスレタス (半結球・立ちレタス)

肉厚で食味の良いロメインタイプ。一見ミニ白菜のような立ち性で内部は淡黄色、外葉は濃緑色で食欲をそそる。生食はもちろん加熱調理にも向くので、スープやチャーハンなど様々な料理に使えて便利。

### ●チマサンチュ

(葉赤葉種・青葉種)



お隣り韓国からやって来たサンチュ♪レタスとは一線を画すものの今や知らない人はいない焼肉の定番野菜である。比較的栽培は容易で春と秋に播種でき、葉をかきとって食べれば長期間収穫を楽しめる。